

平成30年度

岡山県立博物館協議会

第2回 開催要項

日 時：平成31年3月19日(火) 10:00～12:00
会 場：岡山県立博物館 「講堂」

1 開 会

2 議 題

(1) 平成30年度事業について

- ア 展 覧 会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成31年度事業計画(案)について

- ア 展 覧 会
- イ 予 算

(3) 県立博物館耐震改修等について

(4) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について

(5) その他

3 閉 会

(1) 平成30年度事業について

ア 展覧会

岡山県立博物館 平成30年度展示実績

☆広報テーマ

平成31年3月19日現在

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・民俗ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オーブン スペース	2階ホール
(3/16)～4/15 春季展(1) 28(32)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆特別陳列「西大寺文書の世界」 仏像～平安から江戸時代まで(1) 木簡	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
4/18～5/20 春季展(2) 29(33)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	西大寺文書の世界、木簡 江戸時代の医学書 仏像～平安から江戸時代まで(2)	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの日	☆く特別陳列> 席巻と幕末維新の名刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/5甲冑体験
5/25～7/8 特別展・夏季展(1) 39(45)日	☆特別展(2室) 「サムライアーマー甲冑」	岡山ゆかりの古文書、木簡 岡山の宗教美術 ☆く特別陳列>幕末・維新期の岡山 岡山ゆかりの古文書、木簡 岡山の宗教美術 ☆く特別陳列>幕末・維新期の岡山	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山の蘭草—錦兜鎧—	幕末維新の名刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/26甲冑体験 7/7甲冑体験 正子公也武将画
7/13～8/5 夏季展(2) 21(24)日			岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 昭和のくらし—ホーロー看板を中心に—	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
8/7～9/9 夏季展(3) 30(34)日			岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 昭和のくらし—ホーロー看板を中心に—	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
9/13～10/14 企画展・秋季展 28(32)日		☆企画展 「報恩大師信仰と寺院縁起 四十八ヶ寺を中心に」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) おまつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史 ☆く特別陳列>太刀無銘—文字山鳥毛	ちやぶ台の ある風景	
10/19～11/25 特別展 33(38)日	☆特別展(2室) 「岡山ゆかりの肖像」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) (朝鮮通信使) おまつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	11/3甲冑体験
11/30～12/24 冬季展(1) 22(25)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆く特別陳列>岡山藩主の書画 仏教美術の名品	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし —電気・ガス・水道が無かったころの道具を中心に—	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～1/14 冬季展(2) 13(15)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山藩主の書画 仏教美術の名品 ☆く特別陳列>木山神社神狐初公開	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし —電気・ガス・水道が無かったころの道具を中心に—	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	1/3甲冑体験
1/18～2/17 交流展・冬季展(3) 27(31)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆交流展 「伊予の戦国時代」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし —電気・ガス・水道が無かったころの道具を中心に—	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
2/21～3/24 春季展(1) 28(32)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	いろいろな絵図 岡山の仏教美術 ☆く特別陳列>岡山の狛犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前・備中・備後の刀剣 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
3/26～(4/21) 春季展(2) 23(26)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の中世寺院文書 岡山の仏教美術 岡山の狛犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前・備中・備後の刀剣 ☆く特別陳列> 虫明焼	ちやぶ台の ある風景	

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名 特別展「サムライアーマー 甲冑」		開催期間 平成30年5月25日(金) ～7月8日(日)								
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	8,697	達成率(B/A)	87%	収入予算額	1,331	実績	1,900
	一般	5,050	65歳以上	2,285	その他	1,362	支出予算額	4,827	実績(見込)	4,827
展示の趣旨・目的 岡山県ゆかりの甲冑と共に奇抜なデザインの変わり兜の優品を一堂に展示し、我が国の甲冑の魅力を紹介する。										
入館者アンケート								満足度	92%	
<肯定的> ・普段目にする事のできない貴重な品々で大変面白かった。 ・品目数もさることながら、説明文が詳細で読みやすかった。 ・地元岡山の甲冑をはじめ、全国から素晴らしい甲冑を見れて感動した。										
<否定的> ・兜のみの展示が多く、兜と鎧が現存しているものは一緒に展示して欲しい。 ・写真を少しは撮らせて欲しかった。										
自己評価		全体評価 岡山県内初公開資料を含め、多種、多様な甲冑を紹介し、幅広い世代の方に楽しんでいただける展覧会となった。								
個別評価						工夫・改善点				
①資料調査 企画段階から関係者と連絡調整を密に行い、事前の資料調査を重ねた。						貴重な作品を借用するためには、所蔵者との信頼関係と、かなり早めの連絡調整が不可欠である。				
②資料借用 繊細な作品が多いため、事前の調査と準備を綿密に行い、ほぼ予定通り借用できた。						安全確保と学芸員の経験値を上げるためにも、借用・返却に専門業者以外に複数名で対応するのが望ましい。				
③展 示 展示に時間がかかる作品が多いため、事前に準備を進めておき、ほぼ予定通り展示できた。						展示品の魅力を伝えるためには、施設と担当者に求められるものも多くなる。施設の改善を早急に行う必要がある。				
④返 却 事前の打ち合わせと準備を早い段階で進め、ほぼ予定通り返却できた。						安全確保と学芸員の経験を積むためにも、借用・返却には専門業者以外に複数名で対応するのが望ましい。				
⑤図録等作成 写真のない作品については早期に借用するなど、所蔵者に協力を求めながら、計画的に進めた。						原稿執筆・図録編集には相当な労力が必要である。現状の体制では、勤務時間内に処理することは極めて難しい。				
⑥関連行事 講演会(2回)、甲冑体験(1回)、展示解説(3回)を実施し、盛況を得た。正子公也氏の武将画展も好評であった。						専門的なことから入門的なことまで、幅広い関心に対応できるように努めた。				
⑦広 報 通常の広報先に加えて、甲冑を所蔵する全国の関係機関にも周知を図った。また、SNSも活用した。						広報については、前例や慣例にとらわれず、柔軟に積極的に行っていく必要性を感じる。				
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 50回										

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名		企画展「報恩大師信仰と寺院縁起－四十八ヶ寺を中心に－」					開催期間		平成30年9月13日(木) ～10月14日(日)	
入館者等	目標(A)	5,000	実績(B)	5,773	達成率(B/A)	115%	収入予算額	693	実績	646
	一般	3,779	65歳以上	1,412	その他	582	支出予算額	1,817	実績(見込)	1,817
展示の趣旨・目的 備前四十八ヶ寺のほか報恩ゆかりの寺院の縁起や古文書を通して報恩大師信仰について紹介し、あわせて各寺院の優れた仏教美術作品を鑑賞する機会とする。										
入館者アンケート								満足度	83%	
<肯定的> ・奈良時代の大仏健造や僧について関心があり、岡山の様子がわかって大変参考になった。 ・丁寧に展示されていて説明も多く、全く知識がなくてもゆっくり楽しめた。 ・普段見られないお寺の所蔵品を近くで見られた。巻物の中身がちょっと読めた。										
<否定的> ・もう少し、石仏、仏像の量が欲しかった。 ・図録を作ってほしかった										
自己評価		全体評価 各分野の作品・史料を配分し、絵画・彫刻・文書など幅広い興味に対応できるようにした。従来秘仏であった作品も出品できた。限られた予算と時間の中で、十分な満足度が得られたと思う。								
個別評価					工夫・改善点					
①資料調査 直前調査の時間は取りにくかったが、長年の資料調査の集積が役立った。また所蔵者のご厚意で次の所蔵者につなげていただけたことも有難かった。					平素からの資料調査が、後々役立つことが多々あることを痛感した。誠意ある調査態度をもって、今後も所蔵者との信頼関係を継続することが重要。					
②資料借用 恙なく順調であった。					問題はないが、もう少し時間の余裕がほしかった。体力的にきつい。					
③展 示 多くの情報が寄せられ、自然と点数が多くなったが、中世末から近世初頭の備前の仏教界を中心にまとめる工夫をして、なんとか筋書きのある展示ができた。					所蔵者の思いを受け止めようとすると点数が膨らみがちになる。全体像を事前にしっかり固め、断る勇気も必要か。					
④返 却 恙なく順調であった。					問題はないが、もう少し時間の余裕がほしかった。体力的にきつい。					
⑤図録等作成 図録なし。図録を要望する声があった。					特になし					
⑥関連行事 講演会は満席となり好評であった。展示解説(期間中2回)も各回約60名が参加し活気があって良かった。					講演の内容、関連行事のペースが丁度よかった。今後ともこれくらいのペースが良い。					
⑦広 報 広報担当職員のSNS発信、HP、所蔵者からの発信など、それぞれに協力が得られた。					展覧会(特別展、企画展、特別陳列)の広報が次々に打たれるので、一つ一つの情報が薄まっている感じがする。いずれの施設でも近年はこのような傾向である。					
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 17回										

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名 特別展「岡山ゆかりの肖像」		開催期間 平成30年10月19日(金) ～11月25日(日)								
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	6,393	達成率(B/A)	80%	収入予算額	1,239	実績	1,032
	一般	3,683	65歳以上	1,598	その他	1,112	支出予算額	4,588	実績(見込)	4,588
展示の趣旨・目的 戦国時代から江戸時代までに活躍した岡山ゆかりの大名や武将の肖像を取り上げ、残された情報を丁寧に読み取り、人物の最新研究とともに紹介する。										
入館者アンケート								満足度	90%	
<肯定的> - 人物や絵の解説がわかりやすかった。有名な絵が見れたのも満足した。岡山の歴史が身近に感じた。 - 秀吉、秀秋の肖像が並べて展示しており、とても似ていると実感できた。図録があるのが嬉しい。 - 池田光政の金色の像は見事だった。学芸員の解説がとても良く、楽しい時間を頂けた。										
<否定的> 宇喜多家のことがもう少し知りたかった。										
自己評価		全体評価 資料を肖像に絞ったことで、観覧者が作品を比較して楽しむことができた。小早川秀秋など何人かは、肖像とあわせて人物の最新情報を紹介することができた。図録は訂正が多くなった。地元の作家に講師を依頼しての関連行事を試みた。								
個別評価						工夫・改善点				
①資料調査 所蔵者の多くが寺院であり、協力的だったので調査を順調に進めることができた。また、専門家の協力を得られ、新しい発見もあった。						調査開始の時期をできるだけ早くする。その分調査内容を深めることができる。				
②資料借用 閑谷神社の金銅池田光政像など一部の資料は、図録掲載の写真を撮るため、早めに借用させたもらった。						県内で早めの借用が可能な場合には、事前調査の際に借用も兼ねる。				
③展 示 高台寺の重要文化財2点「豊臣秀吉像」と「小早川秀秋像」や林原美術館と常住寺の池田光政像など、比較することで理解が深まる作品を並べて展示した。						特に紹介したい数点に限っては、平易な言葉で見どころを紹介するキャプションを設置する。				
④返 却 比較的余裕を持って返却することができた。						特になし				
⑤図録等作成 できるだけ写真の質を揃えるため改めて撮影し直した。原稿が予定通りに進まず、その分見直しの期間が短くなり、訂正箇所が増えてしまった。						早い段階で写真を入れた第一稿を作り、具体的なできあがりのイメージを持つようにする。				
⑥関連行事 記念講演会は、肖像画自体と人物について、最新の研究成果を話していただいた。ワークショップは地元のアーティストの協力を得て実施した。						記念講演会の2回目の日程が、岡山マラソンの開催日と重なってしまった。交通規制が敷かれるような事業は避けて設定する。				
⑦広 報 山陽放送にテレビ広告を依頼した。新発見資料等を新聞・テレビに取り上げてもらい広報につなげた。						開会の直前や期間中に展覧会の目玉となるような資料や講演会等についてマスコミに取り上げてもらえる工夫ができるとよい。				
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 44回										

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

展覧会名 交流展「伊予の戦国時代」		開催期間 平成31年1月18日(金) ～2月17日(日)			
入館者等	目標(A) 5,000	実績(B) 4,282	達成率(B/A) 86%	収入予算額 597	実績 391
	一 般 2,572	65歳以上 1,082	その他 628	支出予算額 2,100	実績(見込) 2,100
展示の趣旨・目的 平成18年度から始まった中国四国地方の県との文化交流事業は、本年度より愛媛県と始めた。初年度は、伊予国内で活躍した戦国武将を特集した。併せて県内に伝わる伊予の戦国時代に関連する資料を紹介した。					
入館者アンケート				満足度	76%
<肯定的> ・ボランティアガイドさんの丁寧な説明がよかったです。 ・みきさんの説明書きが、子どもにも合うようにしてあるのが今までにない試みでよかった。 ・解説がわかりやすかった。あまり触れることのない伊予の大名について知ることができて良かった。					
<否定的> ・ボランティアの声が少し大きく、集中して見られなかった。					
自 己 評 価		全体評価			
人事異動により昨年までの担当者から変更となった。交流先にも専門的な情報の提供してもらうなど、協力を得られたので、無事に開催することができた。					
個別評価			工夫・改善点		
①資料調査 交流先の愛媛県歴史文化博物館をはじめ、関係機関の協力もあり、効率的に調査することができた。			交流先の担当者との連携が大切だと改めて感じた。訪問機会の確保と、そのための事前準備が重要である。		
②資料借用 交流館ほか関係機関と連絡を密にとり、問題なく行えた。 借用資料の中には、展示中のものもあり、開館前・閉館後作業となった。			展示中資料を借用する場合には、作業場所や作業時間確保の面からも、休館日に実施する等検討が必要である。		
③展 示 文書資料ばかりでなく、考古資料や甲冑、絵巻物等様々な資料を借用し展示した。			特になし		
④返 却 借用館だけでなく、美術専門運送業者の日程を合わせる事が難しかった。			余裕をもった返却日程を組み、安全面をより確保する必要がある。		
⑤図録等作成 来館者配布用の展示解説パンフレットを作成した。愛媛県の関係機関にも校正を依頼し、協力を得た。			可能な限り最新研究成果が紹介できるように、交流先の担当者をはじめ各分野の専門と連携し、資料作成に努める必要がある。		
⑥関連行事 講演会2回、ボランティアガイド(4回)展示解説(3回)を実施した。いずれの講演会も予定人数を超え盛会であった。展示解説も回数を重ねるほどに参加人数も増えた。			講演会は、一人でも多くの方に聞いていただきたい。という講師の先生の思いもあり、定員以上の方に聴講いただいた。しかし、安全を確保するためにも予定人数を超えた場合には資料配布のみにする方がよい。		
⑦広 報 当館の通常の広報先に加えて、愛媛県の関係機関にも周知を図った。 資料借用をした林原美術館とも連携展示を行い、双方のチラシで周知した。			展覧会や講演会に先立って新聞掲載され、より多くの方に感心を持ってもらえた。 林原美術館と連携展示したことで、回遊する方もあった。 今後とも機会があれば、公館・私館問わず連携を進めたい。		
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 45回					

イ 教育普及事業

事業名	実績		備考
	H29	H30(見込み)	
館内授業	45校、1,799人	52校、1951人	
出前授業	12校、1,072人	12校、936人	
ジュニア歴史スクール	4校、169人	3校、146人	高梁市 1校 11人 赤磐市 2校 51人 84人
ジュニア学芸員講座	12人	22人	
博物館講座	スタンダード 77人	スタンダード 76人	
	スペシャル 97人	スペシャル 112人	
博物館実習	14人	16人	
職場体験	9校、23人	8校、23人	

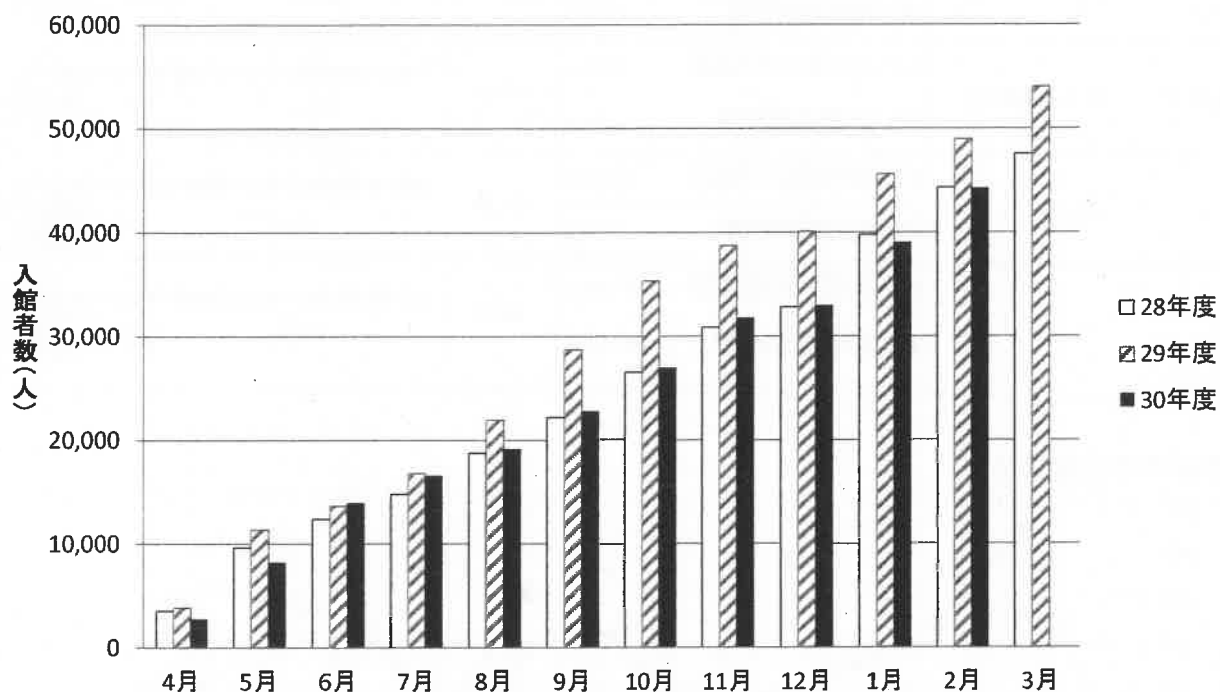
ウ 入館状況

月別入館者数

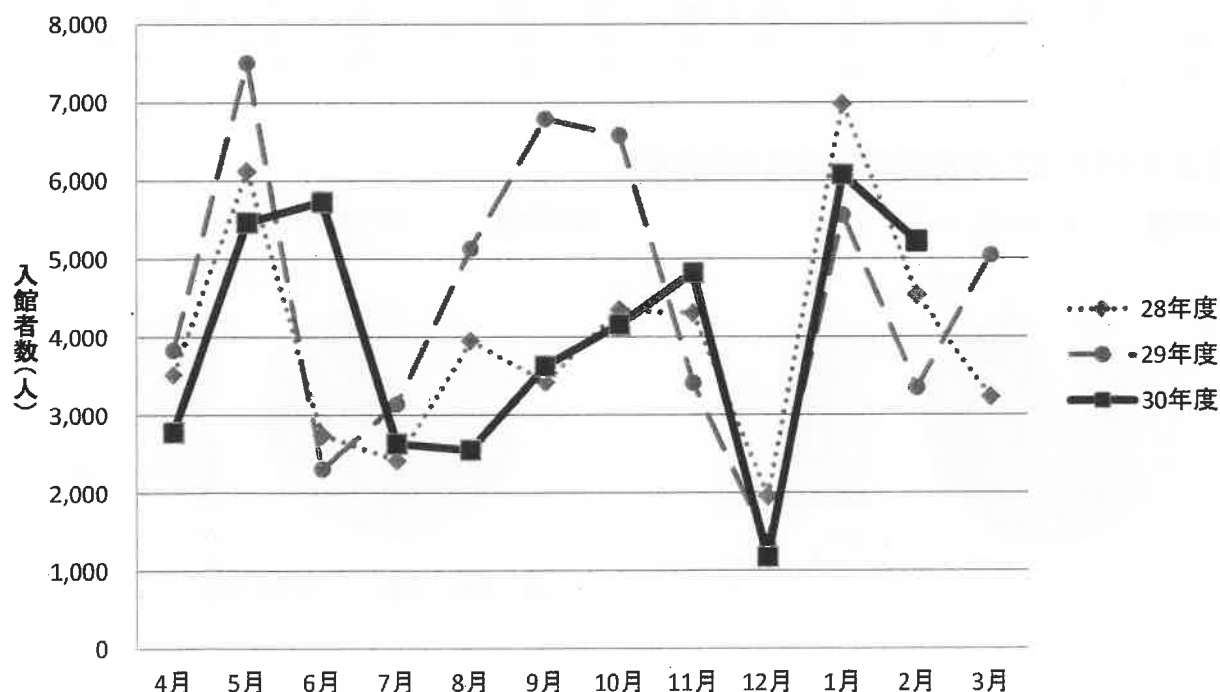
(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2月末現在
28年度	3,523	6,127	2,749	2,421	3,955	3,424	4,353	4,308	1,960	6,986	4,543	3,232	47,581	44,349
29年度	3,837	7,512	2,311	3,146	5,138	6,799	6,582	3,414	1,350	5,560	3,349	5,046	54,044	48,998
30年度	2,787	5,472	5,736	2,638	2,556	3,632	4,165	4,825	1,180	6,077	5,223		44,291	44,291

年度別 累計入館者数



年度別 月別入館者数

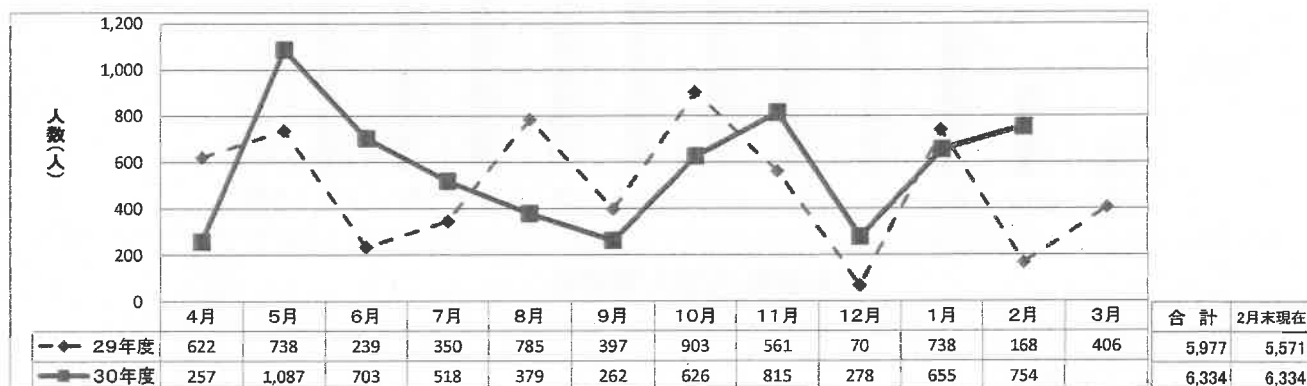


観覧会別入館者

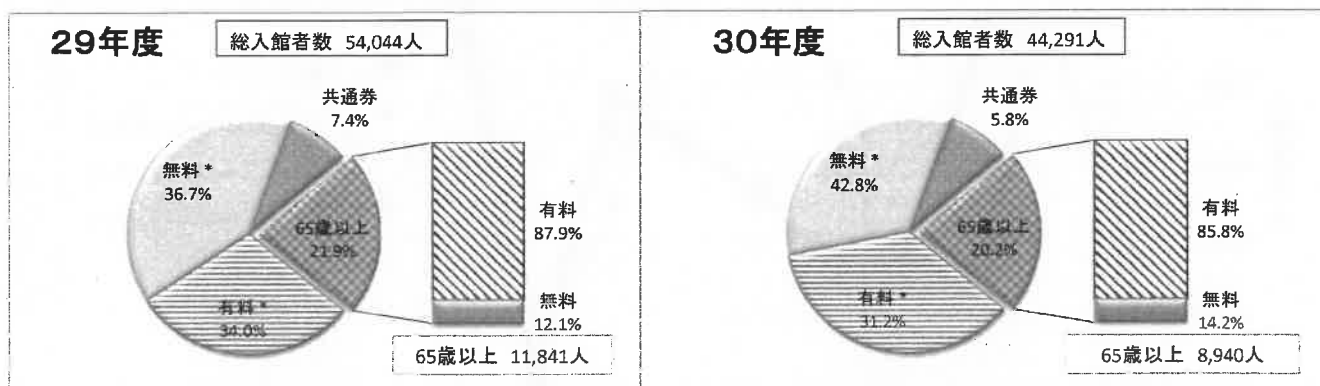
平成31年2月28日現在

観覧会名	目標に対する実績	達成率	入館者の割合
企画展	目標 実績	115.5%	一般 65歳以上 高校生以下
特別展	目標 実績	87.0%	一般 65歳以上 高校生以下
交流展	目標 実績	85.6%	一般 65歳以上 高校生以下
平常展	目標 実績	83.2%	一般 65歳以上 高校生以下
計	目標 実績	86.8%	一般 65歳以上 高校生以下

高校生以下の入館状況



入館者別割合《平成30年度は2月末日現在の数値》



注：有料* 無料* は、65歳未満の入館者をいう。

サービス向上への取り組みについて

展示活動

1 展覧会毎の工夫

①特別展「サムライアーマー甲冑 ―岡山ゆかりの名品と変わり兜―

- ・玉野市出身の正子公也氏の戦国武将イラストパネルを2階ホールで展示（撮影可能）した。
- ・林原美術館「企画展：サムライの纏うもの」と岡山城天守閣「サムライ達の関ヶ原」と連携し、岡山カルチャーゾーン加盟3館連携事業『おかやまサムライめぐり』を実施した。会期中には、「岡山県立博物館・岡山城天守閣・林原美術館リレー展示解説」を行った。

②企画展「報恩大師信仰と寺院縁起 ―四十八ヶ寺を中心に―

- ・「阿弥陀二十五菩薩来迎図」（国指定重要文化財）や、「千手観音菩薩坐像」（県指定重要文化財）など、国、県、市指定の重要文化財をはじめとする総数約90点の宝物を県内の寺院の協力を得ながら展示した。2階展示室に数々並んだ仏像や来迎図は圧巻であったとの感想も聞かれた。

③特別展「岡山ゆかりの肖像」

- ・初公開の木造「池田輝政像」や新発見の肖像画「池田光政像」、50年ぶりの出品となる金銅像「池田光政像」など、これまで公開していなかった岡山ゆかりの人物の作品を展示することによって、来館者の興味・関心を高める展覧会となった。
- ・記念講演会では「小早川秀秋の実像に迫る」と題して黒田基樹駿河台大学副学長に御講演いただいた。小早川秀秋のイメージが変わったと多くの聴講者からも感想があった。
- ・ENNOVA OKAYAMAの協力のもと、ワークショップ「コラージュ de 肖像画」を実施した。

④交流展「伊予の戦国時代」

- ・連携展示として、石谷家文書全3巻のうち、第2巻を県立博物館で、第1巻と第3巻を林原美術館の企画展「鳥のアト―手紙紡ぐ言葉・伝える心―」で同時公開を行った。
- ・大ベストセラー小説「村上海賊の娘」の誕生に多大な影響を与えた村上海賊研究の第一人者である山内譲元松山大学教授に御講演いただき、好評であった。
- ・愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」をチラシや展示解説に活用することによって、親しみやすい展示となった。

⑤平常展・特別陳列

- ・国宝「山鳥毛」を瀬戸内市の購入に併せて展示を行った。
- ・1月1日から2週間にわたって「木山神社の神狐像」を初公開した。正月は無料開館日であったため、多くの方が一目見ようと訪れた。

⑥展覧会共通

- ・岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度のポスターを関係の大学等に配付するとともに、正面ガラスにも掲示して大学生等の入館を促した。
- ・昨年度に引き続き、国際博物館の日、開館記念日、おかやま教育の日、元旦及び後楽園開園記念日を無料開館とした。加えて、今年度は天皇陛下御在位三十年記念式典日も無料開館とし、多くの来館者を迎えた。

学校教育との連携(教育普及事業)

- ① 昨年に引き続き「ジュニア学芸員講座」及び「ジュニア歴史スクール」を開催した。
- ② 初任者研修で館蔵資料を活用した体験授業を実施した。
- ③ 教育利用促進のためのパンフレットを作成し全校に配付した。
- ④ 教員免許更新講習の講座を大学との連携により開催した。
- ⑤ 小・中学校長会議等で教育普及事業の説明を実施した。

広報活動

- ① 経済界との連携・協力により、岡山商工会議所会報の表紙写真に毎月所蔵品の写真を掲載した。
- ② Facebookやtwitterの更新頻度を高め、タイムリーな情報の発信に努めた。
- ③ 岡山カルチャーゾーン連絡協議会で、岡山駅前にカルチャーゾーン案内パネルを設置する予定。
- ④ 岡山マラソン参加者に、岡山カルチャーゾーン割引券付チラシを配付した。

その他 (利用環境、施設整備の充実等)

- ① 2階の来館者用トイレの照明をセンサー感知式にした。
- ② 1; 2階男子来館者用トイレの洗浄をセンサー感知式にした。

(2)平成31年度事業計画(案)について
ア 展覧会

岡山県立博物館 平成31年度展示計画(案)

☆広報テーマ

平成31年2月28日現在

第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・特別陳列ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オープン スペース	2階ホール
古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 24(27)日	岡山の中世寺院文書 岡山の仏教美術 岡山の狛犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前・備中・備後の刀剣 ☆＜特別陳列＞虫明焼	ちやぶ台の ある風景	
☆＜特別陳列＞岡山の三角縁神獣鏡 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 35(40)日	岡山の教育と学問 木簡 岡山の仏像と神像①	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び①	☆＜特別陳列＞ 備前刀(新刀、新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/5 甲冑体験
☆＜特別陳列＞岡山の三角縁神獣鏡 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 37(42)日	岡山ゆかりの古文書 木簡 備中高松城の水攻め 岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び②	☆＜特別陳列＞ 備前刀(新刀、新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 35(40)日	岡山ゆかりの古文書 木簡 宇喜多秀家と小早川秀秋 岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び③ ☆＜特別陳列＞平和への願い	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 34(39)日	☆企画展 「物見遊山—江戸の旅模様—」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 秋まつり	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
10/11～11/10 特別展・秋季展(2) 27(31)日	☆特別展(2室) 「岡山の日蓮法華」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 秋まつり 考古展示	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	11/3 甲冑体験
11/15～12/22 冬季展(1) 33(38)日	☆＜特別陳列＞岡山人物事典 国学者・藤井高尚 屏風の名品 風俗図	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬支度	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～2/9 交流展・冬季展(2) 35(40)日	☆交流展 「正岡子規と仲間たち」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後樂園の名品	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	1/3 甲冑体験
2/14～3/31 特別展・春季展(1) 42(47)日	☆特別展(2室) 「備前のある場所—取り合わせの魅力—」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後樂園の名品	☆＜特別陳列＞赤草威鎧 備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	

事業名	企画展「物見遊山－江戸の旅模様－」	
期 間	平成31年8月29日(木)～10月6日(日)	
趣 旨	江戸時代になると、街道や宿駅が整備され、交通の利便性は大きく向上した。また、出版物の隆盛は、学問の向上をもたらし、庶民の好奇心・向上心を喚起した。こうした社会情勢を背景に、庶民までもが旅が楽しむようになり、名勝地や寺社仏閣を訪れる旅が広く行われ、名所図会などの刊行物も数多く出版された。とりわけ、江戸時代後期には伊勢参詣や金比羅参詣はさかんで、そこへ至る街道也大いに賑わった。本展覧会では、絵図や古文書、旅道具や絵馬などを展示し、江戸時代の旅の姿をたどる。	
主要展示資料	御参観御下向御行程記(複製) 岡山県立博物館(原本:山口県立文書館) 金毘羅参詣名所図会 岡山県立博物館 備中国絵図屏風 岡山県立博物館 象通候節之留帳 岡山大学附属図書館 絵馬 お蔭参りの図 牛窓神社(寄託:岡山県立博物館) 絵馬 伊勢参宮之図 若宮八幡宮(寄託:岡山県立博物館)	
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 学芸員による展示解説	
備 考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室	

事業名	特別展「岡山の日蓮法華」(仮)	
期 間	平成31年10月11日(金)～11月10日(日)	
趣 旨	鎌倉時代に日蓮が関東で立宗した日蓮宗は、弟子日像(にちぞう)によって京都へ、さらにその弟子である大覚妙実(だいかくみょうじつ)によって山陽地方へ伝えられた。そのため、岡山県南部には大覚を開基とする日蓮法華宗寺院が多くある。 本展覧会では、大覚による岡山への日蓮法華宗の布教、中世期の各流派の広がり、不受不施派の禁止から再開といった、岡山ならではの日蓮法華宗の歴史と、曼荼羅や絵画に見られる美と特徴を紹介する。	
主要展示資料	重要文化財 法華経要文和歌懐紙 京都市 妙満寺 重要文化財 朗源宛 大覚妙実書状 京都市 妙顕寺 重要文化財 日実上人宛 大覚大僧正書状 京都市 妙覚寺 重要文化財 釈迦如来坐像 康俊作 備前市 妙国寺 岡山県指定重要文化財 本蓮寺文書 瀬戸内市 本蓮寺	
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 学芸員による展示解説 (3) 現地説明会	
備 考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室	

事業名	交流展「正岡子規と仲間たち」(仮)		
期 間	平成32年1月1日(水)～2月9日(日)		
趣 旨	俳句や短歌など多方面に渡って活躍した愛媛県松山市出身の正岡子規。彼は35年の生涯を通じて多くの人々と交友があった。岡山県津山市出身の大谷是空は、子規と大学予備門で同窓生となり、文学を通じて交友を続けた。子規とともに松山で共同生活をした夏目漱石は、明治25年岡山滞在時に水害に遭い、その様子を子規へ宛てている。愛媛県との交流事業2年目は、日本が近代国家へと移り変わる中、正岡子規ゆかりの資料を通してどのような交友が育まれたのかを紹介する。		
主要展示資料	正岡子規俳句書付後楽園写真 智謀如湧(東郷平八郎書)(複製) 正岡子規あて秋山真之書簡 野球服姿の正岡子規(写真) 大谷是空正岡子規書簡	松山市立子規記念博物館 坂の上の雲ミュージアム 松山市立子規記念博物館 松山市立子規記念博物館 津山郷土博物館	
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) ボランティアガイド (3) 学芸員による展示解説		
備 考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室 津山市郷土博物館、吉備路文学館、犬養木堂記念館、岡山県立図書館と連携展示(予定)		

事業名	特別展「備前のある場所——取り合わせの魅力——」		
期 間	平成32年2月14日(金)～3月31日(火)		
趣 旨	茶席に取り上げられた備前焼は、現在、美術品として単独で鑑賞されることが多い。しかし、本来は、他産地の陶磁器のほか、漆器や金属器といった異素材のものと取り合わせて茶室の中で用いられるものであった。備前焼の魅力は、取り合わせの中で見出されてきたと言える。このたびの展覧会では、茶の湯が大きな盛り上がりを見せた16世紀後半から17世紀前半の茶会記を参考に、備前焼の茶道具を他産地の陶磁器と取り合わせて展覧し、備前焼が魅力を発揮してきた環境を紹介する。		
主要展示資料	備前 水指 美濃 茶碗 志野 銘朝日影 備前 茶碗 銘 只今 備前 水指 唐津 茶碗 備前 建水	香雪美術館 香雪美術館 岡山後楽園 岡山県立博物館 個人 個人	
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 関連行事 (3) 学芸員による展示解説		
備 考	入館料 一般450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室		

イ 予 算

平成 31 年 度 予 算 (案)

〔 県 費 〕

【 歳 入 】

(単位：千円)

財 源 内 訳	31年度	30年度	増 減	備 考
使用料及び手数料	3,587	3,310	277	入館料、講堂使用料
諸 収 入	1,497	1,527	▲ 30	博物館講座受講料、電気代私費負担分
一 般 財 源	76,346	68,876	7,470	
合 計	81,430	74,612	7,717	

【 歳 出 】

(単位：千円)

項 目 名	31年度	30年度	増 減	備 考
①展覧会事業 ＜内訳＞	14,841	15,665	▲ 824	
・企画展(1回)、平常展	3,617	4,150	▲ 533	資料運搬費の減
・特 別 展(2回)	8,875	9,415	▲ 540	資料運搬費の減
・交流展	2,349	2,100	249	
②教育普及事業 ＜内訳＞	380	380	0	
・博物館講座	380	380	0	
③資料購入費(修繕費)	419	419	0	
④博物館協議会	324	324	0	
⑤維持管理費	65,466	56,925	8,541	空調作動時間の延長
合 計	81,430	73,713	7,717	

〔 岡山県教育職員互助組合の助成 〕＜予定＞

(単位：千円)

項 目 名	31年度	30年度	増 減	備 考
吉備の国ジュニア歴史スクール	1,225	1,225	0	
ジュニア学芸員講座	300	300	0	
合 計	1,525	1,525	0	

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	県立博物館	所在地	岡山市北区後楽園1－5		
敷地面積	4,310.00 m ²	棟数	2 棟（計画記載対象 1 棟）		
延床面積	4,619.03 m ²		※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法第2条第1項に規定する博物館として設置する。				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 -		浸水 0.5m以上1.0m未満	
建築規制	市街化区域、第1種住居地域、風致地区、後楽園背景保全地区高さ13m、都市計画施設 公園 建ぺい率60% 容積率200%				
エネルギー使用量 (2017 年度)	電気 278,329 kwh	ガス 21,241 m ³	水道 1,614 m ³	燃料 () 0	
管理上の 特記事項	国の特別名勝 岡山後楽園の敷地内 敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし				

1 施設内建物の概況

名 称	本館		
築年(西暦)	1971 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 地上2 階 地下1		
建築面積	1,620.31 m ²		
延床面積	4,603.67 m ²		
主要な用途 (室名等)	展示室(第1～第4) 1,344m ² 収蔵庫(第1～第4) 709m ² 特別収蔵庫 250m ² 講堂 197m ² ホール 307m ²		
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機(一般用、貨物用)		
利用状況	高		
耐震性 ※1	無		
躯体(コンクリート)の健全性 ※2	適		
※耐震診断済のみ ※3	適		
長期使用の適否 ※4	適		
※5	適		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁		

※1 耐震性有: 耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度: 13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化: 築後95年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

未耐震建築物の耐震補強と併せて、公開承認施設の基準を満たすために必要な改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	・耐震改修を実施する。 ・耐震改修にあわせ、更新期を迎えた屋上防水や外壁、内壁の修繕、空調等の電気設備の改修、展示ケースの設置を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

耐震改修・屋上防水等

2019年度 実施設計

2020年度～2021年度 施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	耐震改修										
	耐震改修とあわせて行う設備等の定期更新(修繕・改修を含む)			設計	施工 3						
	設備等の大規模改修					展示 ケース 3					

4. 概算費用

・総額 6億円(耐震改修等3億円、その他設備改修等3億円)

長期展示計画(案)について

年度		企画展	特別展		交流展	交流展(他会場)
30	2018	報恩大師信仰と 寺院縁起 四十八ヶ寺を中心に (中田)	サムライアーマー 甲冑 (佐藤)	岡山ゆかりの肖像 (竹原・重根)	岡山・愛媛 文化交流事業Ⅰ 伊予の戦国時代 (野田)	
31	2019	物見遊山 —江戸の旅模様— (秋山)	岡山の日蓮法華宗 (中田)	備前のある場所 —取り合わせの美— (重根)	岡山・愛媛 文化交流事業Ⅱ 俳人正岡子規と仲間たち (野田)	愛媛県立歴史博物館 岡山の戦国時代(仮)
32	2020	改修工事				
33	2021	改修工事				
年度		企画展		特別展		
34	2022	錦莢莖 (野田)	岡山の戦国時代 (秋山)	岡山県立博物館 名品選① (重根)	岡山県立博物館 名品選② (竹原)	
候補		岡山の鉄道	岡山の工芸 —超絶の技—	人々のよそおい	開館50周年記念 (竹原)	
		岡山の書	織りの技と美 —小倉織・綿・絹—	上杉家の名宝	倭の五王と 吉備の豪族	
		宇喜多氏と小早川氏	岡山の医療	大フィギュア展 海洋堂と岡山の工芸	岡山の妖怪・ おばけ・幽霊	
		北条五代	良寛と陵山 —近世玉島—	近世陶磁器	細工物	

(4) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について

1 現状

第2次中期目標：平成26（2014）年度～平成30（2018）年度

（参考）第1次：平成21（2009）年度～平成25（2013）年度

2 現計画の延長

第2次中期目標：平成26（2014）年度～平成31（2019）年度

3 延長理由

- ・2020年度から2021年度まで、改修工事のために博物館を休館するため、休館までの1年間、現計画を延長する。
- ・特別展・企画展などの展覧会内容や教育普及事業等について、リニューアル後の構想を踏まえた中期目標を休館中に検討・作成することで、より実態に即した計画を立案することが可能である。

4 第3次中期目標（案）

期間：2022年度～2026年度

5 協議会での「第3次中期目標」に関する協議スケジュール（案）

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ① 2019年8月 | 2018年度実績報告 |
| ② 2020年3月 | 第3次中期目標策定に向けての意見交換（フリーティング） |
| ③ 2020年8月 | 2019年度実績報告、
第3次中期目標（素案）提示、協議 |
| ④ 2021年3月 | 第3次中期目標（案）提示、協議 |
| ⑤ 2021年8月 | 第3次中期目標（最終案）提示、協議 |
| ⑥ 2022年3月 | 第3次中期目標作成 |

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
展示関係	← 開 館 →	← 休 館 →	← 休 館 →	← 開 館 →
工事関係	実施設計	改 修 工 事		
協 議 会	① ②	③ ④	⑤ ⑥	（省 略）

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
岡山県条例第47号

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
岡山県教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成31年2月5日～平成33年2月4日）

平成31年2月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	清友 尚	学校教育関係者	真庭市立八束小学校長	H30. 4	
2	小田 洋子	〃	備前市立日生中学校長	H27. 2	
3	福本 まゆみ	〃	岡山県立総社南高等学校長	H28. 7	
4	村木 生久	社会教育関係者	岡山県生涯学習センター所長	H29. 7	
5	延江 典子	〃	岡山県青年団協議会会長	H25. 2	
6	美咲 美佐子	家庭教育関係者	NPO法人岡山市子どもセンター代表理事	H31. 2	新任
7	中嶋 一裕	学識経験者	(株)ビザビ メディア開発局局長	H29. 2	
8	岡野 英美	〃	NPO法人ENNOVA OKAYAMA理事長	H29. 2	
9	岡本 隆明	〃	(株)山方永寿堂代表取締役会長	H23. 2	
10	光本 順	〃	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26. 7	
11	三田 智子	〃	就実大学人文科学部総合歴史学科講師	H31. 2	新任
12	伊勢崎 晃一郎	〃	日本工芸会中国支部陶芸部会委員	H31. 2	新任
13	名木田 いづみ	〃	山陽放送(株)総務局社長室長	H28. 7	
14	清水 玲子	〃	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H26. 7	
15	鳥井 良輔	〃	岡山県議会議員	H27. 6	

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文 化 財 課 長	大 西 治 郎	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	山 田 寛 人	
副 館 長	塩 田 勇	(総務課長事務取扱)
統 括 学 芸 員	中 田 利枝子	
総 括 参 事	竹 原 伸 之	(学芸課長事務取扱)
総務課	主 任 吉 本 治 恵	
	主 任 服 部 禎 宣	
	主 事 小 島 宣 枝	(育児休業中)
	主 事 富 國 ゆかり	(小島宣枝の代員)
学芸課	参 事 横 山 定	兼務(岡山県教育庁文化財課本務)
	学芸員(主幹)	重 根 弘 和
	学芸員(主幹)	秋 山 亮
	学芸員(主任)	野 田 繭 子
	主 任 宇 垣 匡 雅	
	主 事 池 田 美 穂	